

# ハレとケ

長久手市文化の家情報誌

2025/01▶2025/05

Vol.  
19



大胆、かつ繊細。  
世界が認めた  
フランスの若き天才ピアニスト。

名演への招待シリーズ 22

# ALEXANDRE KANTOROW

アレクサンドル・カントロフ ピアノ・リサイタル



演奏することは、私にとってコンサートの醍醐味のひとつなのです。同じ曲でも、演奏するたびに新しい解釈が生まれます。この自由なアプローチこそが魅力です。今回のプログラムは非常に密度の濃い作品が続きましたが、最後にバッハのシャコンヌの純粋な美しさへと到達する、一つの旅路のように感じました。シャコンヌは恐らく最も普遍的な音楽の一つで、その論理的な明快さは聴く人の心に直接響きかけます。耳に新鮮な息吹を感じさせ、聴衆との親密な対話を可能にする作品です。

——長久手のホールの感想と、お客さんの印象はどうですか？

日本の演奏会場の素晴らしさには、いつも感銘を受けています。新しいホールを訪れるたびに、その卓越した音響設計に驚かされます。ささやき声でさえ会場全体に届くような緻密な設計がなされているのです。本日のホールもまさにそう。親密さと音の伝播力が絶妙なバランスで共存しています。そして、日本の聴衆の方々の姿勢には本当に感動します。その静けさは時として畏敬の念すら覚えるほどです。演奏を中断した瞬間の張り詰めた空気、その緊張感は忘れられない思い出として心に刻まれます。コンサート後に示していただく温かな愛情と、クラシック音楽への深い理解。それは演奏家として本当に幸せな気持ちにさせてくれます。

——ピアノを弾く上で大切にしていることは何ですか？

演奏というものを、私は人生の旅路における一つの実験として

捉えています。決して固定的なものであってはならず、毎回新しい挑戦であるべきだと考えています。もちろん、練習では手の動きを定着させ、曲の構造を理解し、論理的な解釈を築き上げていきます。しかし、本番では全てを忘れ、まっさらな気持ちで音楽と向き合いたい。確かな技術は私たちを支えてくれますが、予想外の展開こそが演奏を生き生きとしたものにするのです。

ホールの響きやピアノの音色に耳を傾け、それらに導かれながら、彫刻家が作品を刻むように音楽を紡いでいく。それが私の考える理想の演奏です。時として、考えすぎたり、意識的な操作を試みすぎたりすることで、この理想から遠ざかってしまうこともあります。

——これからやってみたいこと、挑戦したいことを教えてください。

次なる挑戦として、知られざる作品や作曲家の魅力を伝えていきたいと考えています。初めて耳にする音楽は、時に戸惑いを覚えるかもしれませんが、それがさらなる興味を喚起し、作品との深い結びつきを生む契機となるのです。演奏者には、そうした未知の作品の魅力を最大限に引き出す責任があります。

現在、私が特に関心を寄せているのがメトネルという作曲家です。ショパンと同様、彼もピアノのために数多くの優れた作品を残しました。小品から大作まで、ピアノ音楽の歴史に重要な足跡を残した作曲家です。

そして、最大の課題はバッハです。自宅での練習では彼の音楽を

## アレクサンドル・カントロフ 来日公演インタビュー

パリオリンピック開会式で一躍有名となったピアニスト、アレクサンドル・カントロフ。公演チケットは早々に完売し、遠方からもたくさんのお客様にご来場いただきました。27歳という若さながら、彼の演奏は極限の集中力と豊かな表現力に満ちていました。コンサートの最後の曲が終わった時、その緊張感から会場はしばらく静寂に包まれました。そして彼が手を下ろした時、客席からは惜しみない拍手が送られ、スタンディングオベーションが湧き上がりました。

コンサートの終了直後に、ご本人にインタビューしました。

——今回のプログラムのコンセプトを教えてください。

今年は、今日のホールを含む数々の素晴らしいホールでプログラムを披露する機会に恵まれました。このプログラムでは、過去10年間に取り組んできた音楽を2時間にわたってお届けしました。その中には、私が長年親しみ、深い愛着を持つようになった作品が数多くあります。リストやバッハ、シューマン、シューベルトのソナタといった大作です。

これらの作品は構造的に複雑で、まるで大きな即興演奏のようです。時には道に迷いそうになりますが、それだけに得られる喜びも大きく、即興的な要素を持つこれらの曲を深く理解できていても、本番での演奏となると別次元の課題が待ち受けています。明晰な思考と感情の高まりのバランスが求められるのです。コンサートではともするとアドレナリンが高まりすぎてしまいますが、バッハの音楽が持つ構造美と論理性を失わないよう、細心の注意を払わなければなりません。

これからも、バッハの音楽と真摯に向き合い、その本質に迫っていきたく思います。

### Program

- ブラームス  
2つのラプソディより、第1番 作品79-1
- リスト  
超絶技巧練習曲集より、第12番「雪あらし」
- リスト  
巡礼の年(第1年:スイス)より「オーベルマンの谷」
- バルトーク  
ラプソディ 作品1
- ラフマニノフ  
ピアノ・ソナタ第1番 二短調 作品28
- J.S. バッハ (ブラームス編)  
左手のための「シャコンヌ」

- ～アンコール～
- ブラームス  
間奏曲 作品117-1
- ワーグナー (リスト編)  
イゾルデの愛の死



アレクサンドル・カントロフ  
ピアノ・リサイタル  
2024年12月1日  
会場：森のホール



現代音楽集団 mumyo  
彼らが奏でているのは  
今の「時代」そのものかもしれない

# euphoria

「mumyo」という名前をご存知でしょうか？読み方は「むみょう」と読みます。現代音楽の世界で、ちょっとしたセンセーショナルな話題を巻き起こしている現代音楽集団と言っても過言ではないでしょう。mumyo は、作曲家の梅本佑利、山根明季子、ヴァイオリニストの成田達輝からなる現代音楽集団。mumyo という名は、音楽家の坂本龍一氏が名付けたということからも、その注目度がうかがえます。そんな彼らの2回目となるコンサートが、森のホールにて開催されました。

舞台上には、大きなスピーカーが仁王像のように対座し、mumyo 唯一の演奏家であるヴァイオリニストの成田さんを待ち構えています。そして開演時間。暗転の中に響く足音とともに成田さんが登場。手にしているのは、ヴァイオリンの中でも最高峰と言われるストラディヴァリウスです。独特の緊張感が会場を包む中、演奏が始まると、半ば強引に、しかし至って自然に、mumyo の世界への扉が開かれました。ストラディヴァリウス×成田達輝の最高級の音色と、スピーカーから流れる音楽とも音とも声とも受け取れるようなサウンド。これらが融合したそれは「音楽」という一言で片付けてしまえば勿体無い、しかし別の言葉で表現するにはあまりに稚拙になってしまう……。これが、人々の心を惹きつけてやまない「mumyo」なのだということを全身で感じる事ができました。

全11曲の中でも特に印象的だったのが、ほぼ暗転の舞台に響く8曲目の『オキシトシン』に重なる演奏される9曲目『煙を燻べる者』、その後の10曲目『BREAK UP MANTRAS』の流れです。イギリスの作曲家であるベンノプトとの共同作品である『BREAK UP MANTRAS』は、同じフレーズの反復で構成された約20分の大作。その反復が織りなす快感は、美しくも切なくもあり、彼らの『euphoria』(多幸感)が感じられる素晴らしいものでした。そして、憂いの後にやってくる、どこか清々しい夜明けを感じさせるような曲『Rest in my friends. McDonald』



euphoria  
2024年9月7日  
会場：文化の家 森のホール



左から、梅本佑利、山根明季子、成田達輝

で、彼らの『euphoria』は終演となり、会場内は大きな拍手の渦に包まれました。

終演後には、音楽ライターである小室敬幸さんとのアフタートークも開催され、それぞれの曲の解説や、彼らの音楽に対する考え方なども聞くことができ、とても貴重な時間となりました。

まだまだ走り始めたばかりの彼ら。これからどのように羽ばたいていくのか……。ますます目が離せなくなりそうです。

文化の家、夏の一大イベント  
「おんぱく」が帰ってきた!



# おんぱく

真夏のおんぱく大縁日

約1年の準備期間を経て、第10回目のおんぱくが6年ぶりに文化の家全館をまるごと使って復活しました!

今回のジャンルは吹奏楽。メインコンサートで演奏される傑作曲「鳳凰が舞う」から企画全体の物語を作りました。鳳凰を迎え入れるためのお祭りに楽器妖怪たちが集まるというウワサを聞きつけた「楽器妖怪はかせ」が、観客と一緒に楽器妖怪の調査をするというストーリーになっています。

6月15日から約2カ月間、イオンモール長久手や地域共生ステーションなど10カ所を巡り「まちなかコンサート」を開き、延べ約2500人のお客様にご来場いただきました。さらに、まちなかコンサート期間中に、8月4日のメインコンサートのチケットは完売するなど、大きな反響をいただきました。

そしてついに8月4日、「おんぱく2024」真夏のおんぱく大縁日」がやってきました。日本トップクラスの吹奏楽団、東京佼成ウインドオーケストラを招き、東海地区のプロ奏者とコラボレーションするスペシャルメンバーで、おんぱくを盛り上げました。金管十重奏による壮大なファンファーレは館内隅々まで響き渡り、文化の家の創造スタッフも各所で大活躍します。

東京佼成ウインドオーケストラのメンバーによる金管五重奏や木管五重奏のミニコンサート、歩き始めまでの赤ちゃん向け音体験コーナー、メインコンサートに向けたダンスを覚えるワークショップ、オリジナルの



おんぱく 2024  
～真夏のおんぱく大縁日～  
2024年8月4日  
会場：文化の家全館



つくも神を作る美術ワークショップなど、様々なアトラクションを同時多発的に開催しつつ、突然はじまるゲリラコンサートに加え、館内の様々なところに楽器妖怪が現れ、会場はお祭り騒ぎとなりました。

大縁日を楽しんだ最後は、いよいよ鳳凰が現れるメインコンサートです。本格的な吹奏楽の楽曲とともに、楽器妖怪たちの様子が変わり、「鳳凰が舞う」が演奏されると、ついに文化の家に鳳凰が現れ、何色もの羽根を振りまき、子どもたちも大興奮!

ファイナーレは、おんぱく2024のために、作曲家の芳賀傑さんに委嘱した「おんぱく大縁日!!」楽器妖怪が通りゃんせ」を初披露。最後は紙吹雪が舞う中、大感動の終演となりました。

# 文化の家が2025年1月から 天井改修工事に入ります。

## 館を出よ 街に出よう！

休館に入りますが、文化の家の活動は止まることを知りません。休館を逆手に取り、文化芸術を引っ提げて、街へ進出していきます。

2025年3月29日(土)

### 『文化の家野外劇場 vol.1 ~春祭~』

文化の家の2階駐車場、通称「しばちゅう(芝駐)」。休館中は「しばちゅう」が楽しいイベント会場に大変身です。その名も『文化の家野外劇場』！第一弾は、3月29日(土)に開催。演劇や音楽、美術系のワークショップのほか、おいしいご飯も食べられる、楽しいマルシェ会場に変身しますよ。春の始まり、桜も見頃かも?? ぜひふらりと遊びに来てくださいね!

夕方からは創造スタッフの林友里菜さんによるトワイライトダンスも。



### 2025年5月18日(日) 万博20周年×文化の家!?

2025年は、愛・地球博から20年。20周年を記念して、愛・地球博記念公園で『愛・地球博20祭』が開催されます。文化の家でも全力で盛り上げるべく、愛・地球博にちなんだコンサートやワークショップを企画中です。この日はぜひとも愛・地球博記念公園へ!

### 2025年 まちなかが文化の家に!

小中学校で開催している「であーと」をはじめ、街のあちこちで文化芸術イベントを発信していきます。音楽はもちろん、演劇や美術もあなたの街にやってくる!? あんな所やこんな所、予期せぬ出会いがあなたを待っているかも!?

2022年に好評を博した東京大学先端科学技術研究センターとのコラボ企画「ハイキングコンサート」に続く、新しい試みも企画中です。ご期待ください!!



詳細は決まり次第、文化の家HPで発表していきます。

## 休館中のアレコレを教えてくれる魔界人

### 魔界補佐官ブラクトミー

魔界帝王デスカイザーの命を受け、魔界に文化芸術を普及させるために文化の家にやってきた研修生。



### 秘書モギコ

魔界帝王デスカイザーの秘書。憤ましく強かな魔界人。休館中の文化の家について、誰よりも早く情報を入手している。



### 魔界人ザング

ブラクトミーの同僚。気性が荒く負けず嫌い。ブラクトミーにライバル意識を持っている。



### Q1. なんで休館するの?

#### A1. ホールやガレリアの天井耐震工事です。

2011年の東日本大震災の時、天井が落下した劇場がいくつかありました。そのため、一定の高さ・面積・重さを超える天井は、より頑丈にするための法改正がありました。音の響きなどは維持しつつ、より安全な天井に変える工事です。

### Q2. いつから利用できる?

#### A2. 2026年の秋頃を目処に全館OPEN予定です。

これまでにない大規模な工事なので、長期間の休館になります。正式な再開時期は、文化の家HP、広報ながくて等でお知らせします。

たくましくなって帰ってきますのでみなさま待っていてくださいね。

### Q3. 休館中の連絡はどうしたらいいの?

#### A3. 休館中は職員の勤務時間が変わります。文化の家にご連絡をいただく際は、平日にお電話でご連絡ください。

LINEのお友達登録はこちら↓



受付時間は平日の8:30~17:15です。休館中も長久手市内でいろいろなイベントを予定しているので、文化の家LINEにて引き続きお知らせしていきます。







# 長久手市文化の家 開館 25 周年記念誌

## 『創造する雑談の記録：常に新しい「それ、おもしろいね」を求めて』

文化の家は 1998 年に開館し、2023 年に開館 25 周年を迎えました。25 周年を記念して制作された文化の家の記念誌が、約 3 年の制作期間を経てついに完成します。

これまで文化の家に関わったたくさんの方のインタビュー記事も交えながら、開館前の建設秘話から公演のおもしろエピソードまで、ぜひ内容にご期待ください！

### 第 1 章 文化の家の原点

文化の家開館前夜  
劇場のよき市民パートナー 文化の家フレンズ  
地域住民を育てた文化マスタープラン  
恐るべし、長久手市文化の家

### 第 2 章 文化の家がつくってきたもの

「劇王」国際大会にまで広がった演劇コンペ  
世界の名演を発掘する一名演への招待シリーズ  
炸裂ブラームス！  
文化の家の総力戦「おんぱく」  
芸術大学と劇場の創造的な連携  
連鎖する感動 クーテンガーナキッズダンス隊  
受け継がれる大合奏 吹奏楽フェスティバル  
新型コロナウイルスと文化の家の挑戦  
東京大学先端科学技術研究センターとの連携

### 第 3 章 文化の家で働く人々

創造するアーティスト 文化の家創造スタッフ  
劇場職員とアーティストの対話  
公演をビジュアル化する

### 第 4 章 文化の家 25 年目の到達点

25 年の時間とスティーヴ・ライヒへの想い  
休憩室から創られる 雑談から生まれた舞台  
長久手を見つけにいく 2 日間  
「好き」が居場所を作る  
活動のプロセスをアーカイブする

### 特別企画 劇場の未来に提言

 **長久手市文化の家**  
NAGAKUTE Cultural Center

〒480-1166 愛知県長久手市野田農 201 番地  
お問合せ：0561-61-3411

**地下鉄 藤が丘駅**

リニモ **はなみずき通駅** 徒歩 7分 (1番出口から)

車 8分 (徒歩 25分)


名鉄バス **長久手文化の家北** 徒歩 4分


■愛知医科大学病院行き(4番乗り場) ■菱野団地行き(5番乗り場)

名古屋 長久手 IC 車 10分

※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

**長久手市文化の家**

 長久手市文化の家 official

 長久手市文化の家

 @bunkanoie

 @bunkanoie

公式 Web サイト

